

レジメン名：CapeOX + BV 療法

【適応癌腫】 大腸癌

【1 コースの期間】 21 日 【最大コース数】 - コース

【催吐性リスク】 中度

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)	day (6)	day (7)
Rp 01	点滴注射 30分かけて グラニセトロン静注液シリンジ 3mg 「特例」 デカドロン注射液 3.3mg/1mL 生理食塩液 100mL	点滴静注 (速度入力なし) 3 mg 9.9 mg 100 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 全量：100mLとして アバスタチン点静注 生理食塩液 100mL	点滴 [化療] 90分かけて 7.5 mg/kg 100 mL		+00:30						
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 120分かけて オキサリプラチン点静注 ブドウ糖注射液 5%250mL	点滴 [化療] 130 mg/m ² 250 mL		+02:00						
注射										
Rp 04	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝・夕食後 (分2) 1 4日分 カペシタビン (ゼローダ)錠 300 体表面積により用量調節必要	※化学療法内服 2000 mg/m ²		+00:00 +12:00	→					

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1回投与量 (補正単位)	速度指示	day (8)	day (9)	day (10)	day (11)	day (12)	day (13)	day (14)
Rp 04	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝・夕食後 (分2) 1 4日分 カペシタビン (ゼローダ)錠 300 体表面積により用量調節必要	※化学療法内服 2000 mg/m ²								+00:00 +12:00

【備考】

オキサリプラチンの累積投与量が 800~900mg/m² で末梢神経障害の出現率が増加。

減量は基準 L-OHP：130mg/m²→100mg/m²→85mg/m²、cape：2000mg/m²→1500mg/m²→1000mg/m²

血液毒性 (好中球減少 grade3 以上、血小板減少 grade3 以上) 非血液毒性 (grade2 以上)、→ 1 段階減量

カペシタビン投与量 (C 法) 体表面積 < 1.36m²：2400mg/day、1.36~1.66m²：3000mg/day、1.66~1.96m²：3600mg/day
> 1.96m²：4200mg/day

アバスタチンの投与速度は 90 分→60 分→30 分と短縮可能